

6/1

小松島市市制施行59周年記念式典 個人8名・1団体の方々を表彰

小松島市が昭和26年に市制を施行して59周年を迎えた6月1日、市保健センター2階多目的室で記念式典が催され、小松島市のさらなる発展をめざして決意を新たにしました。

式典には、これまで市の発展、振興に功労のあつた市制功労者をはじめ各界を代表する市民、地元選出県議会議員、市議会議員など約50人が列席されました。武中副市長による開式のことばに続いてあいさつに立った稻田昭市長は、「本市は、昭和26年6月1日の市制施行以来、困難な財政状況が続くなかにありながらも、種々の問題に誠心誠意取り組むことで、一歩一歩着実な発展を遂げて参りました。これは、偏に、今日の小松島市発展の基礎づくりに情熱をもつてあられた先人各位のご努力はもとより、こよなくふるさと小松島を愛し、まちづくりに邁進してこられた市民の皆様のたゆまないご尽力の賜物であると、この場に臨んで改めて深甚なる感謝を申し上げる次第であります。」と式辞を述べられました。

高木幸次市議会副議長のあいさつに引き続き、市制功労者表彰が行われ、個人8名と1団体

- ◆保健衛生功労 ◆産業功労 ◆自治功労
- ◎青木 正廣（赤石町） ◎白山 林一（松島町） ◎吉尾 さだえ（江田町）
- ◎徳田 登美子（小松島町）

【表彰状】

理事長として、本市の産業の振興に貢献された白山林一さんが「私はどちらは、微力でございますが、それぞれの立場で自分に出来る限り、精一杯の努力をしてまいりました。このことが本日の受賞という名誉に繋がったことを、大変うれしく思います。これもひとえに、皆様方のご支援ご協力の賜物であると深く感謝申しあげます。今後におきましても、今日この感激を忘ることなく、それぞれの分野、立場において、住み良い地域社会づくりに、一層精進してまいりたいと思います。」と謝辞を述べられました。

市制功労者は、次の方々です。
(順不同・敬称略)



式辞を述べる稻田市長

を表彰。受賞者それに稻田市長から表彰状や感謝状が贈られました。受賞者を代表して、特定非営利法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしまを設立し、理事長として、本市の産業の振興に貢献された白山林一さんが「私はどちらは、微力でございますが、それぞれの立場で自分に出来る限り、精一杯の努力をしてまいりました。このことが本日の受賞という名誉に繋がったことを、大変うれしく思います。これもひとえに、皆様方のご支援ご協力の賜物であると深く感謝申しあげます。今後におきましても、今日この感激を忘ることなく、それぞれの分野、立場において、住み良い地域社会づくりに、一層精進してまいりたいと思います。」と謝辞を述べられました。

【感謝状】

- ◆社会福祉功労 ◆人命救助 ◆私財寄付
- ◎井内 了（小松島町） ◎幸野 章子（坂野町） ◎幸野 章子（坂野町）
- ◎西川 まり子（金磯町） ◎住友林業クレスト株式会社 ◎西川 まり子（金磯町）

小松島工場

6/7

全国ママさんバレー大会に県代表で出場！



ママさんバレーチーム「花水木」のみなさん（後列）

5

月に行われた第41回全国マサニバレー大会徳島予選会で見事優勝を果たし、全国大会に出場するママさんバレー

ボーラー隊『花水木』が6月7日、市役所を訪れ、稲田市長に予選会優勝と全国大会出場の報告をしました。主将である内藤富美さんは「優勝を目指にがんばります。」と力強く話されていました。全国大会は、7月22日から25日までの4日間、群馬県総合スポーツセンターで開催されます。

6/9

和田島小学校で親子による海岸清掃

身近な自然について理解と愛情を持ち、自分たちにできる環境保全や環境づくりを学んでもらおうと、6月9日、和田島小学校（米本英男校長）で親子海岸清掃が行われ、同校の児童と保護者約300名が和田島の洲端海岸などの清掃活動を行いました。

児童らはそれぞれに軍手をはいてビニール袋を片手にごみ拾いを行い、自分たちの身近にあられる自然環境の大切さを学びました。この活動は毎年初夏の季節に実施されています。



海岸に流れ着いたごみを一生懸命拾う児童や保護者たち